

平成 28 年 10 月 4 日

鹿児島大学病院 放射線部で

縦隔腫瘍の精査目的に FDG-PET/CT を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院放射線科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

縦隔腫瘍の良悪性鑑別における FDG-PET/CT でのテクスチャー解析の診断的有用性の検討「後ろ向き観察研究」

【研究機関】

鹿児島大学属病院
放射線診療センター
放射線科

【研究責任者】

鹿児島大学病院
放射線診療センター
放射線科 助教 中條 正豊

【研究の目的】

悪性腫瘍では正常細胞よりもブドウ糖代謝が亢進しています。ブドウ糖類似体である FDG (fluoro-deoxy-glucose) を用いて糖代謝を非侵襲的に捉える検査が FDG-PET/CT 検査です。FDG-PET/CT を用いた縦隔腫瘍の良悪性の鑑別診断は、一般に視覚的及び薬剤の集積の強さを示す SUV 値を用いた定量的な評価を用いて行われています。しかしながら、FDG は良性腫瘍や炎症性病変にも集積する場合があります、上記の評価法を用いても縦隔腫瘍の良悪性の鑑別が困難なことが少なく、新たな診断法が望まれます。

テクスチャー解析は、画像内の模様を幾つかのパターンに分類して、そのパターンの頻度を基に画像の特徴を測定する方法です。このテクスチャー解析を用いて、腫瘍の FDG 集積分布の不均一性を評価することが可能であり、近年、肺腫瘍などの他の臓器の腫瘍の鑑別診断に利用されています。撮像された FDG-PET/CT のテクスチャー解析を用いて、非侵襲に縦隔腫瘍の良悪性の鑑別が可能となれば、臨床的に有用であると思われます。

この研究の目的は、縦隔腫瘍の良悪性の鑑別における FDG-PET/CT を用いたテクスチャー解析の有用性を明らかにすることです。

【研究の方法】

撮像された FDG PET/CT のテクスチャー解析を行い、診断能を検討します。

●対象になる患者さん

平成 23 年 1 月 1 日から平成 28 年 7 月 31 日までに鹿児島大学病院で FDG PET/CT が施行された患者さんのうち、縦隔腫瘍への異常集積を認め、良悪性の鑑別診断が得られている方が対象になります。

●診療録（カルテ）から利用する情報

撮像された FDG PET/CT を用いて、エントロピー、ホモゲナイティーなどのテクスチャーパラメータを測定します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

本研究のデータ解析に関する費用は鹿児島大学大学院医歯学総合研究科放射線診断治療学分野の研究費（使途特定寄付金）で実施し、研究に参加頂く患者さんの負担はありません。資金の一部には企業からの寄付金が含まれますが、広く学術を支援するためのものであり、この研究を特定したものではありません。この研究に対する企業等からの寄付や労務提供はありませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 放射線診療センター 放射線科

助教 中條 正豊

電話 099-275-5417 FAX 099-275-1106